

WorldCat Discovery リリースノート

リリース日：2017/1/12（日本標準時）

目次

はじめに	2
ハイライト.....	2
予定されている機能強化.....	2
エラーレポートRequestID付与のお願い.....	2
追加/強化機能.....	3
検索範囲の拡大をストレスなく行えるようになりました。.....	3
新規追加コンテンツ.....	4

はじめに

当リリースノートは、2017年1月12日（日本標準時）に発行された、WorldCat Discoveryバージョンアップに関するご案内です。

ハイライト

自館で検索結果が見つからなかった際に、libraries worldwideへ簡単に切り替えられるようになりました。

予定されている機能強化

2017年1月時点での改修ロードマップは、WorldCat Discovery Community Centerに掲載しています。WorldCat Discoveryの今後の改良予定をご確認ください。2月3月には、講義関連資料機能への一時アイテムの追加、WorldCat Localの講義関連資料データの移行サポート、WorldCat knowledge baseにおける電子資料へのリンクの正確性アップなどの改良を予定しています。

エラーレポートRequest ID付記のお願い

WorldCat Discoveryの不具合をご連絡頂くにあたっては、その内容と合わせてRequest IDをお知らせ頂きますようお願い致します。Request IDとは、不具合が発生したWorldCat Discovery画面の最下部に表示される文字列です。OCLCの技術者は、この情報を使ってレポートを受けた各不具合の内容を直接追跡することが可能となります。



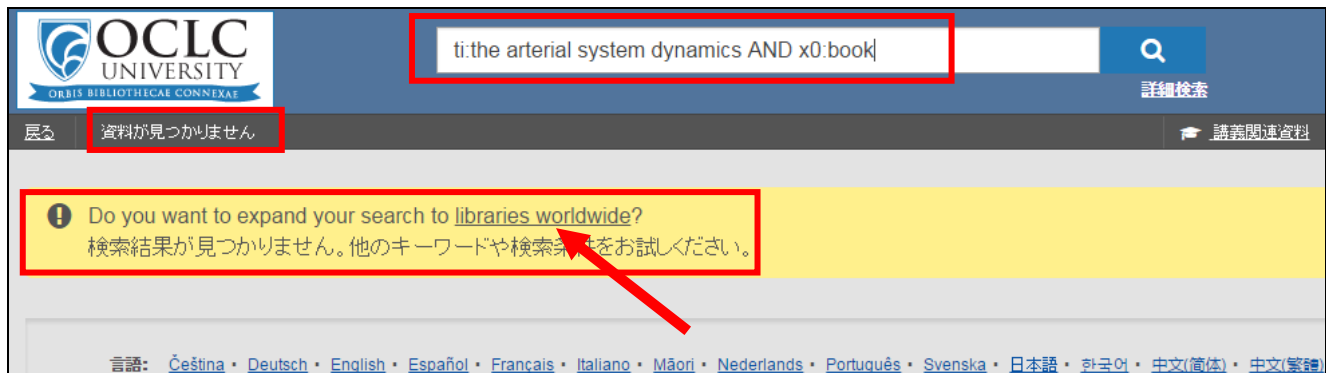
追加/強化機能

検索範囲の拡大をストレスなく行えるようになりました。

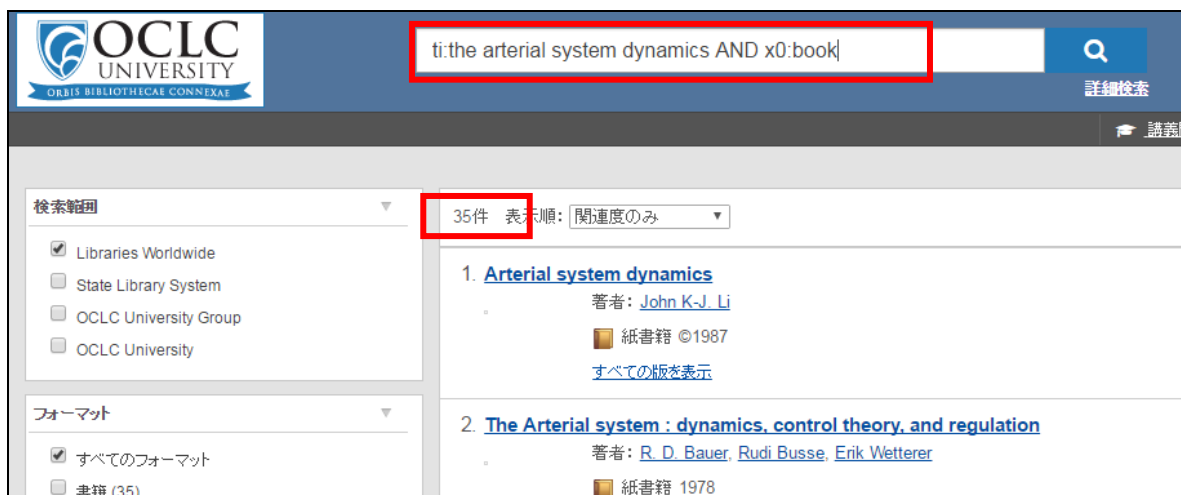
最近のwebinarで、WorldCat Discoveryにおける関連度の設定が議論された中で、「表示順『関連度のみ』、検索範囲『自館のみ』」をデフォルト設定にしておくアイデアをいただきました。

この設定のメリット・デメリットを議論する中で、OCLCからは、検索範囲を『自館のみ』とした場合、検索結果がヒットしない可能性が高まることを指摘しました。ただし、自館で利用可能な資料を探したい利用者もいるため、これは問題です。そこで、利用者が探しているものを見つけやすくするために、検索結果がヒットしない場合に、検索範囲を『Libraries Worldwide』に変更できるようにしました。

下記の画像は、はじめに自館検索で検索結果が見つからなかった資料が、Libraries Worldwideに変更したのち、結果を見つけた事例です。



検索範囲を自館のみで検索すると、ヒットしません。「libraries worldwide」を選択すると、



検索範囲を世界の図書館として同キーワードが検索され、検索結果がヒットします。

WorldCat Discoveryは、検索者がより速く、より簡単に、探しているものを見つけられるよう、検索体験の向上に努めていきます。

新規追加コンテンツ

前回のリリースノート以降、OCLCのCentral Indexに搭載され、検索対象として設定可能となったコンテンツは以下のとおりです。

WorldCat Discovery, WorldCat Local, [WorldCat.org](https://www.worldcat.org/)で検索対象となるコンテンツ

プロバイダー：**Brill**

- **Sacramentum Mundi Online**

プロバイダー：**S.Karger**

- **Karger Retro-Digitized Books.**

図書館は自館で契約しているデータベース等を、管理者サイト「[OCLC Service Configuration](#)」から随時WorldCat Discovery Servicesの検索対象コンテンツとして設定することが出来ます。

現在検索対象として設定可能なすべての電子コンテンツは、[こちらのExcelリスト](#)（331KB）にてご確認頂けます。